

令和3年度

北海道肝炎医療 コーディネーター オンライン養成研修会

肝炎医療コーディネーターとは、肝炎に関する療養相談、検査、治療方法、服薬、医療費の助成制度など幅広い知識とスキルを持ち、肝炎の患者さんが安心して検査や治療を受けたり、日常生活を送ることができるよう患者さんをサポートする相談員のことです。北海道では北海道大学病院と共同で、肝炎医療コーディネーターを育成するため研修会を開催いたします。例年は集合型研修を行っていましたが、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染状況を踏まえてオンラインでの開催いたします。

肝炎医療コーディネーターの活動例

- 肝疾患に係る情報提供、肝炎ウイルス検査の受検案内
- 肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨や専門医療機関の紹介
- 継続受診の重要性の説明 など

日時 令和3年 10月23日(土) 13:30～16:00

定員 120名(定員になり次第締め切り)
※受講者については道と協議の上決定させていただきます。

対象者 初めて本研修会に参加する肝疾患診療連携拠点病院職員、肝疾患専門医療機関職員、病院・訪問看護施設に勤務する職員、市町村・企業・医療機関において健康管理に携わる医師・看護師・保健師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師・事務職員、企業における衛生管理者など
※北海道肝炎医療コーディネーターに認定されている方は本研修会を受講できません。何卒ご了承ください。

プログラム	開会挨拶	北海道保健福祉部 感染症対策局感染症対策課
	北海道の現状と肝炎対策について	北海道保健福祉部 感染症対策局感染症対策課
	肝炎医療コーディネーターについて	北海道大学病院 肝疾患相談センター長 小川 浩司
	B型肝炎	北海道大学病院 消化器内科 特任助教 須田 剛生
	C型肝炎	北海道大学大学院 医学研究院 消化器内科学教室 教授 坂本 直哉
	NASH、アルコール性肝炎	北海道大学病院 肝疾患相談センター長 小川 浩司
	肝がん	北海道大学病院 消化器内科 助教 中井 正人

後日提出物：確認テスト・アンケート

※研修会の全受講と確認テストに回答し、返信された方に認定証の交付を行います。
※返信が無い場合は認定いたしませんので予めご了承ください。

受講料 無料

お申込 令和3年9月6日(月)締切

■QRコードもしくは下記URLより申込フォームにアクセスし、①～⑥を入力してお申し込みください。

- ①メールアドレス
- ②氏名
- ③所属
- ④職種
- ⑤研修資料入手方法
- ⑥資料送付先ご住所(必要な方のみ)



(URL ▶ www.huhp.hokudai.ac.jp/liver_center/mail/9.html)

※裏面にお申込の際の留意事項がありますのでご参照ください。
※例年、締切日を待たずして定員に達しております。
受講ご希望の方はお早めにお申し込みください。

お問い合わせ

北海道大学病院 肝疾患相談センター

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目 TEL:011-706-7788 FAX:011-706-5630
Eメール: kansoudan@huhp.hokudai.ac.jp

共催：北海道、北海道大学病院肝疾患相談センター

肝炎コーディネーターオンライン養成研修会の留意事項

新型コロナウイルスの影響を受け、従来の集合型研修をオンライン研修へ切り替えました。申し込みにあたり、事前にお伝えしていた方がいい内容を下記にまとめました。参考にいただければと思います。

1. 今後の予定としては9/10頃までに受講の決定のメールを差し上げます。
2. オンライン研修の視聴は、各自お申し込みください。視聴環境としては、有線のパソコンでの視聴が一番安定します。Wi-Fiで視聴する場合は、映像が乱れる可能性があります。同様に格安スマートフォンをご利用されている方も映像が乱れる可能性があります。
3. 視聴料金は参加者様のご負担になります。
4. 当日の質問は、チャットで随時出来ます。しかし大変申し訳ありませんが、iPhoneからはチャットへの質問入力が出来ません。質問がある方はパソコンもしくはiPhone以外のスマートフォン機種からの入力をお願いします。
5. チャットへ書き込まれた質問は、演者を含め全員が見ることができます。講演時間が限られていますので、寄せられた質問に関しましては全講演が終了した後の、質問コーナーでお答えします。時間の関係上、全てのご質問にお答えできない可能性があることをご了承ください。
6. 申込フォームに入力していただくメールアドレスは、そのまま肝炎コーディネーターのメーリングリストへ登録されます。メーリングリストは肝疾患相談センターからの各種お知らせのために用いています。頻度としては8週に1回程度の配信があります。
※ファイルを添付する場合もあるので、なるべくキャリアメールではなくパソコンのメールアドレスを推奨します。